研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16060
課題名	モバイル端末を活用した救急医療支援システムの有用性評価
研究期間	西暦　2016 年　　8 月　　1 日　～　　2018 年　　3 月　　31 日
利用する情報、検体	■診療情報（詳細：個人情報を削除した画像） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他（　　）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦　2016 年　8 月　　1 日　～　　2018 年　　3 月　　31 日
研究の意義、目的	本院に搬送されてくる血管外科・心臓外科分野の救急症例は迅速な治療開始が求めるため、あらかじめ画像を関係する医師間で共有し治療方針の検討が行えるシステムを構築する。また治療方針を決定できる立場の医師が院外にいる場合でも連携がとれるようにモバイル端末で画像を閲覧できるようにする。ICT（情報通信技術）による救急医療の質の向上などその有用性を評価する。
研究の方法	患者搬送元医療機関 6 病院と本院放射線部 PACS システムから該当する画像をセキュリティが担保された通信回線を経由してクラウドセンターにアップロードし、医師がモバイル端末で画像を閲覧できるシステムを構築する。画像は登録されたモバイル端末を持つ複数の医師間で共有し、治療方針を連携して検討することができる。本システムを救急症例に適用することで症例発生から治療開始までの時間短縮効果を測定する。また本システムによる診療面での有用性について医師へのアンケート調査を行い評価する。さらに本システムにおけるセキュリティ・個人情報管理などについて技術検証を行い、安全な運用管理手法について検討する。
その他	総務省「モバイル端末やクラウド技術を活用した医療分野におけるセキュアな情報連携モデルの実現に向けた調査研究」請負契約の下で実施し、必要な機器およびサービスの利用料については、研究期間中は株式会社アルムとの共同研究契約に基づき提供を受け、費用は総務省調査研究請負費から支出します。 しかし、機器やサービスの評価に際し、意図的に企業に都合の良い成績となるよう導いたりすることはありません。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、本研究の企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
個人情報について	利用する画像からは個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の	所属：旭川医科大学病院遠隔医療センター

窓口	氏名：守屋　潔 電話番号：0166-65-2522